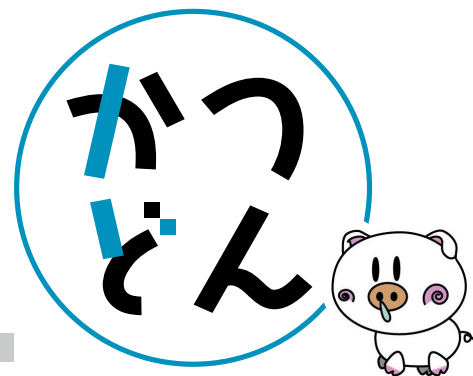


“かつ” ボランティア&市民活動を “どん”どん広げよう!



ボランティア“活”動や市民“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がって、半田市が生き生きとくらしやすいまちになるよう、市内で行われるさまざまな取り組みを紹介します。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

はんだまちづくり
ひろば(愛称:まちひろ)
☎32-3440

【相談窓口】 市民交流センター(クラシティ3階)
【開所時間】 月曜日～土曜日 9時～17時
【休館日】 毎月第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)

大作戦レポート

半田市では「みんなで一緒に大作戦」を合言葉に、市民のみなさんと力を合わせて、より住みやすいまちにしていこうことを目指しています。



地域が主体となったコロナ禍の避難所運営

半田中学校避難所運営委員会は、災害時に半田中学校を避難所として利用する地域住民が、自分にできることを見つけ、お互いに助け合える「誰にとっても優しい避難所」の実現のために活動を行う市民活動団体です。

12月6日(日)、半田中学校体育館にてコロナ禍に対応した災害時の避難所運営訓練が開催され、半田中学校避難所運営委員会のスタッフを中心に約50名が参加し、避難者の受付と振り分け、ダンボールベッドや仕切りの設営などを行いました。

訓練を通して、受付時の体調不良者の振り分け方法、受付や生活スペースなどでの人と人の距離の確保方法、また密を避けることにより避難者受け入れ人数が減少する避難所の機能見直しなどの課題が確認できま



▲受付訓練を行う様子

した。

このような課題を解決していくには、まずは地域住民が「避難所は避難者が作る」という認識のもと、「避難方法の選択肢として在宅避難や車中避難などを検討すること」や「避難所が生活の場としてだけでなく、正確な情報提供・物資提供の場」として機能するよう、行政や学校と協力しながら考えていく必要があるとのことです。

今後は、課題解決に向けて避難者一人ひとりの意識を高めるため、避難所運営について理解、経験してもらえる場を作ることや、避難所運営の道標となるマニュアルを作成していくとのことです。

※この事業は、令和2年度半田市民活動助成金対象事業です。



▲段ボールベッドを設営する様子